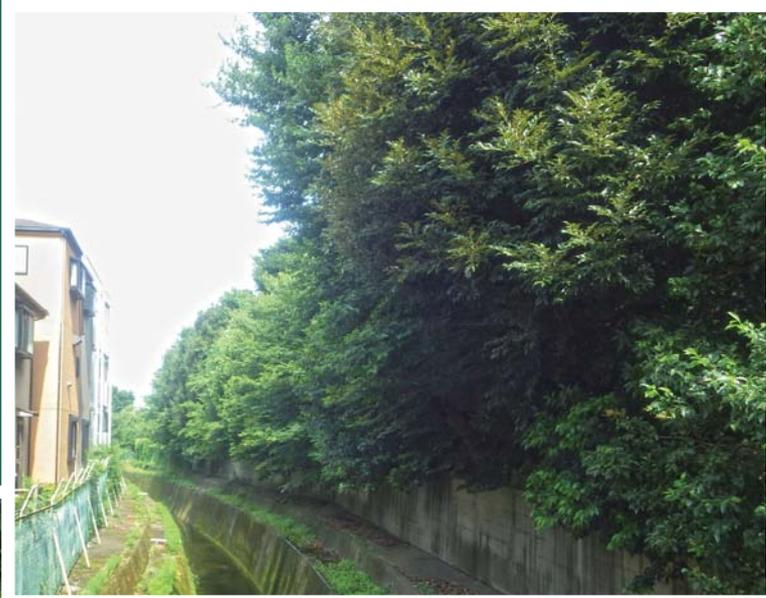




調布市崖線樹林地の 保全管理計画 (布田崖線)





計画の概要

崖線の緑は自然の地形を残し、かつ市街地の中で区市町村界を越えて連続して存在する緑であり、東京の緑の骨格となっているとともに、崖線下には湧水や稀少植物等の資源があり、都市化が進んだ東京の中で貴重な空間となっています。

また調布市においても、緑の基本計画で緑の将来像「庭園のまち 調布」の実現に向けた基本方針のひとつに「調布らしい多様な緑をまもり、活用する」を掲げています。崖線樹林地をはじめとしたまとまりのある緑は、良好な景観を形成するとともに、生き物の生息・生育環境としても貴重であることから次世代へ引き継ぐべく、その保全・活用を図ることとしています。

以上のことから、布田崖線の樹林地の植生や樹木など、緑資源を主対象とした調査と評価を行い、概ね10年後の将来像を見据えた崖線樹林（植生）の保全・管理に関する基本計画を策定することを目的としています。

計画の策定にあたっては、保全活動を行っている市民団体や対象となる崖線樹林地に関係する市民の皆様とも意見交換を行い、専門家のご意見をうかがいながら、保全計画のとりまとめを行っています。

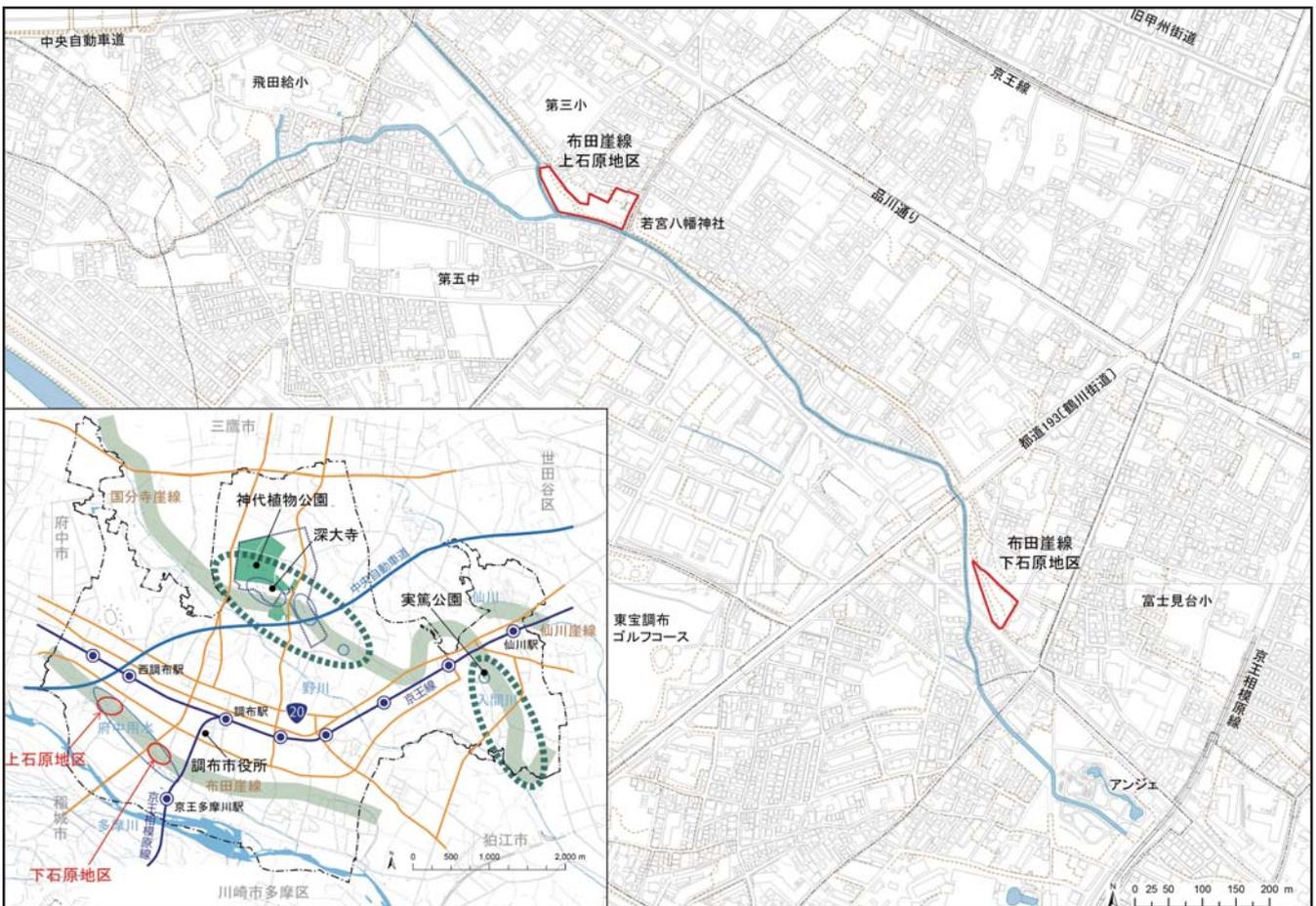


対象区域の位置

対象区域は、下石原三丁目と上石原三丁目に位置し、府中用水に隣接する崖線樹林地で、住宅地の中に残っている貴重な緑地です。

調布市下石原三丁目地内
調布市上石原二丁目地内

約 2,400 ㎡
約 5,000 ㎡

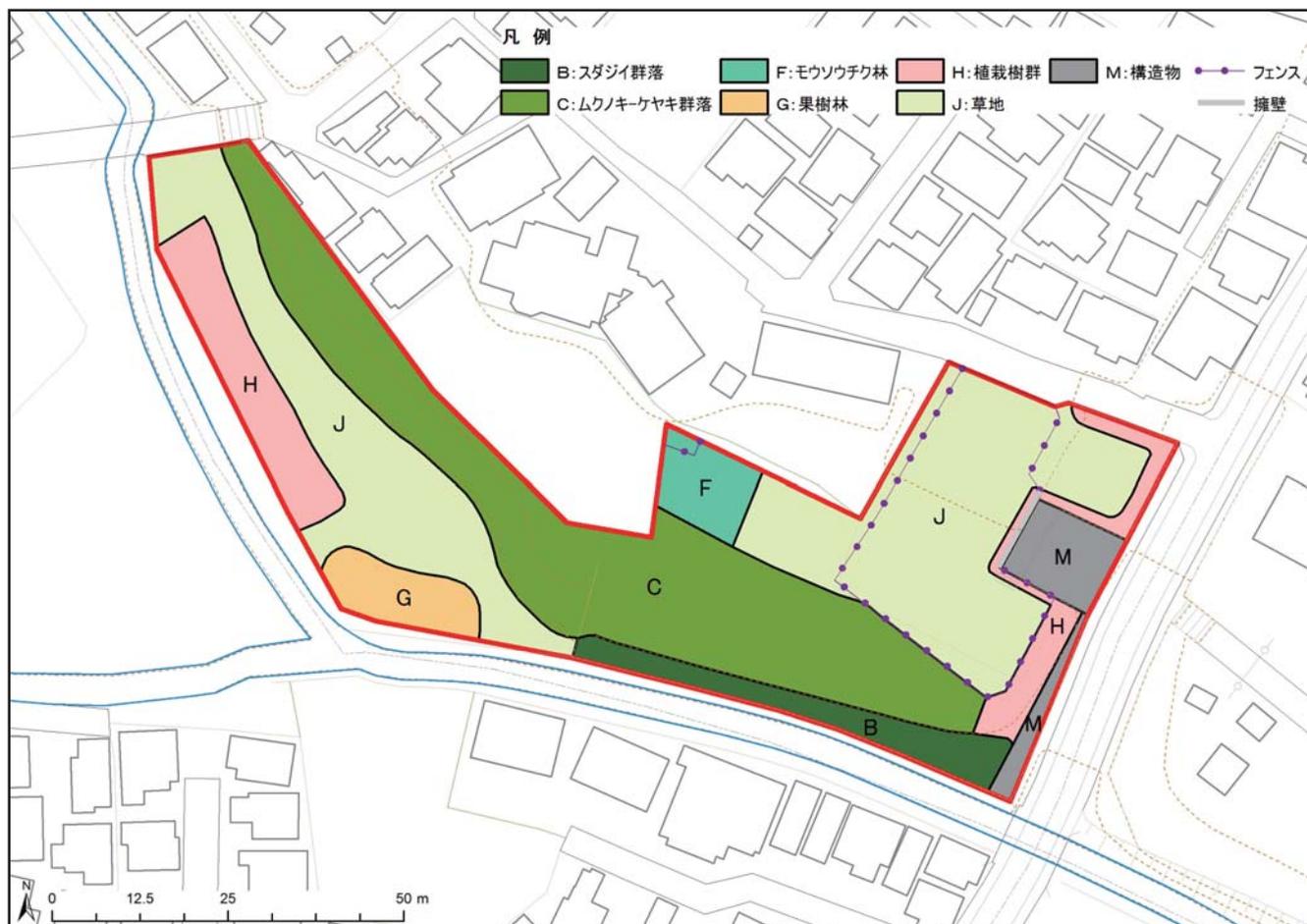


布田崖線（上石原地区・下石原地区）位置図

2 現存する植物群落および林内の低木や草本類の分布

布田崖線（上石原地区）の相観植生

東西に細長く連続するムクノキ-ケヤキ群落とスダジイ群落の樹林が広がっており、崖線の斜面樹林を挟むように北側の台地面と南側の平坦面にイネ科等の高茎草本と低茎草本が分布しています。また、この地区は、狭いながらモウソウチク林があるのが特徴です。



相観植生図（上石原地区）



布田崖線（上石原地区）樹林景観



布田崖線（上石原地区）樹林景観

布田崖線（上石原地区）の林床植生

対象区域の林床植生は、大きく、常緑低木型、アズマネザサ型（高茎型・低茎型）、ササ型、草本型（高茎型・低茎型）、つる植物型、落ち葉型、裸地型の8つに分類されます。このうち最も広い面積を占める植生は、イネ科などの植物が優占する高茎・低茎の草本型で、次にクズなどが優占するつる植物型となっています。

アオキやシロダモ等の常緑低木型は、狭い範囲にとどまっています。また、南東側のスタジイ等の常緑樹が優占する林床には落ち葉が広い範囲で堆積しています。



林床植生図（上石原地区）



高茎アズマネザサ型



常緑低木型

布田崖線（下石原）の相観植生

台地面は平坦でケヤキが優占する落葉広葉樹林となっており、崖線部はシラカシを主構成種とする常緑樹林となっています。



相観植生図（下石原地区）



布田崖線（下石原地区）樹林景観



布田崖線（下石原地区）樹林景観

布田崖線（下石原地区）の林床植生

対象区域の台地面および斜面地の広い範囲がシュロやアオキ等の常緑低木型の植生となっています。また、台地面の中央部は、サネカズラなどのつる植物で覆われているほか、竹伐採跡地に低茎の草本が繁茂しています。



林床植生図（下石原地区）



つる植物型



低茎草本型

3 基本方針

基本方針の考え方

保全管理計画を策定するにあたり、植生の現状、地形、土壌浸食、湧水等の状況、周辺の土地利用の状況および市民の皆様との意見交換の結果を踏まえ、今後の基本方針について検討しています。

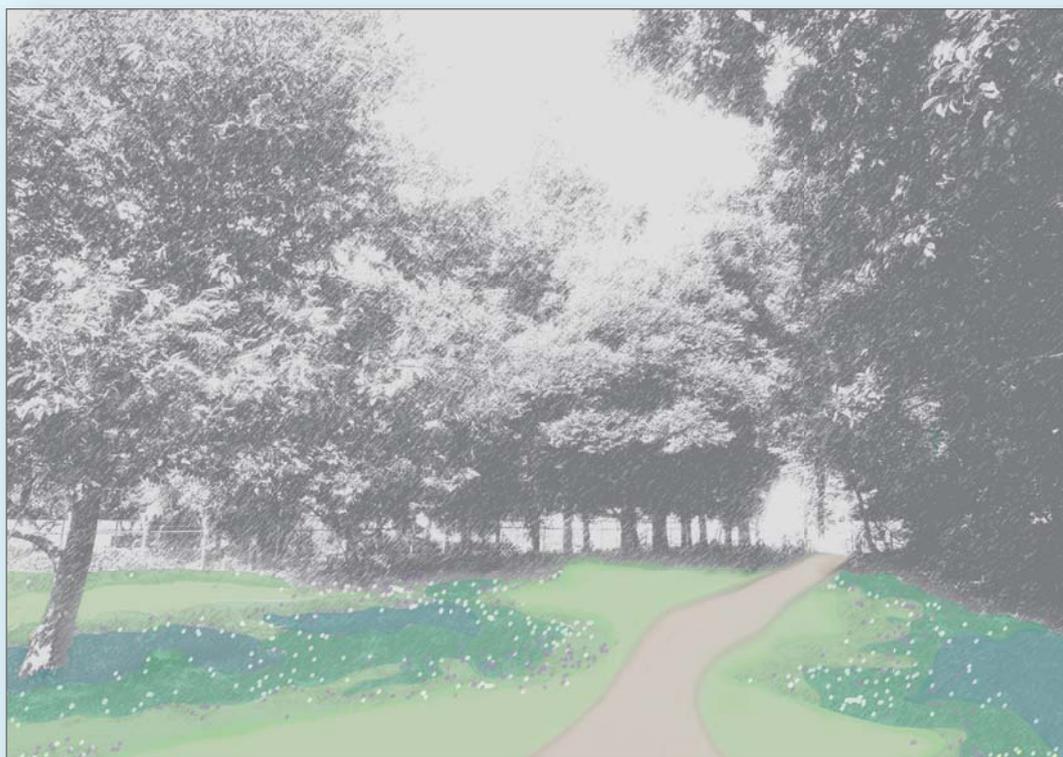
今後の基本方針としましては、崖線樹林地を利用する皆様の安全確保および環境学習等の活用についての「利用方針」と現況の緑資源の維持と育成および保護・保全に関する「保全の方針」の2つについて検討しています。

「保全の方針」は、樹林の若返りを図るための更新や林内光環境の改善、貴重植物などの保護や隣接住民の皆様々の住環境に配慮した維持管理について検討しています。

「利用の方針」は、急斜面地の状況に応じた限定利用や緑資源を活用した環境学習などの利活用について検討しています。

布田崖線（上石原地区）の基本方針

周辺の緑地と一体となった、西部地域の緑地の核と位置づけ、自然性の高い斜面緑地の保全と、自然資源を活用した林内活動との両立を図っていきます。



将来イメージ図（上石原地区）

〈樹林の目標像〉

多様な草花が咲く、明るく開放的な草地、ムクノキ、エノキ、シラカシ、スダジイなどが混在し、環境学習のフィールドとして利活用ができる樹林。

●保全の方針

- ・市民と行政との協働により、多様な植物や小動物とふれ合える環境を目指す。

●利用の方針

- ・斜面樹林の樹木や様々な植物を活用した、自然学習、環境学習などの利用を目指す。

布田崖線（下石原地区）の基本方針

自然性の高い崖線緑地の一部であるが、住宅地の中に残された孤立した樹林となっています。地域の景観的なシンボルとして、また生物多様性保全の拠点として維持していきます。



将来イメージ図（下石原地区）

〈樹林の目標像〉

ケヤキやエノキ、ムクノキ、シラカシ等の大径木が林立し、林床には、シダ植物やスミシ、ヤブランの他、キツタやサネカズラなどのつる植物が繁茂する、常落混交樹林。

●保全の方針

- ・急斜面地の崩壊防止と斜面樹林の樹勢維持・倒伏防止を図る。
- ・台地面の林床植物の保全を図るとともに生育環境の改善に努める。

●利用の方針

- ・西側急斜面地は安全管理上閉鎖管理とする。
- ・台地面については、林床植物の保護および回復を図るため人の立入りを一定期間制限する。

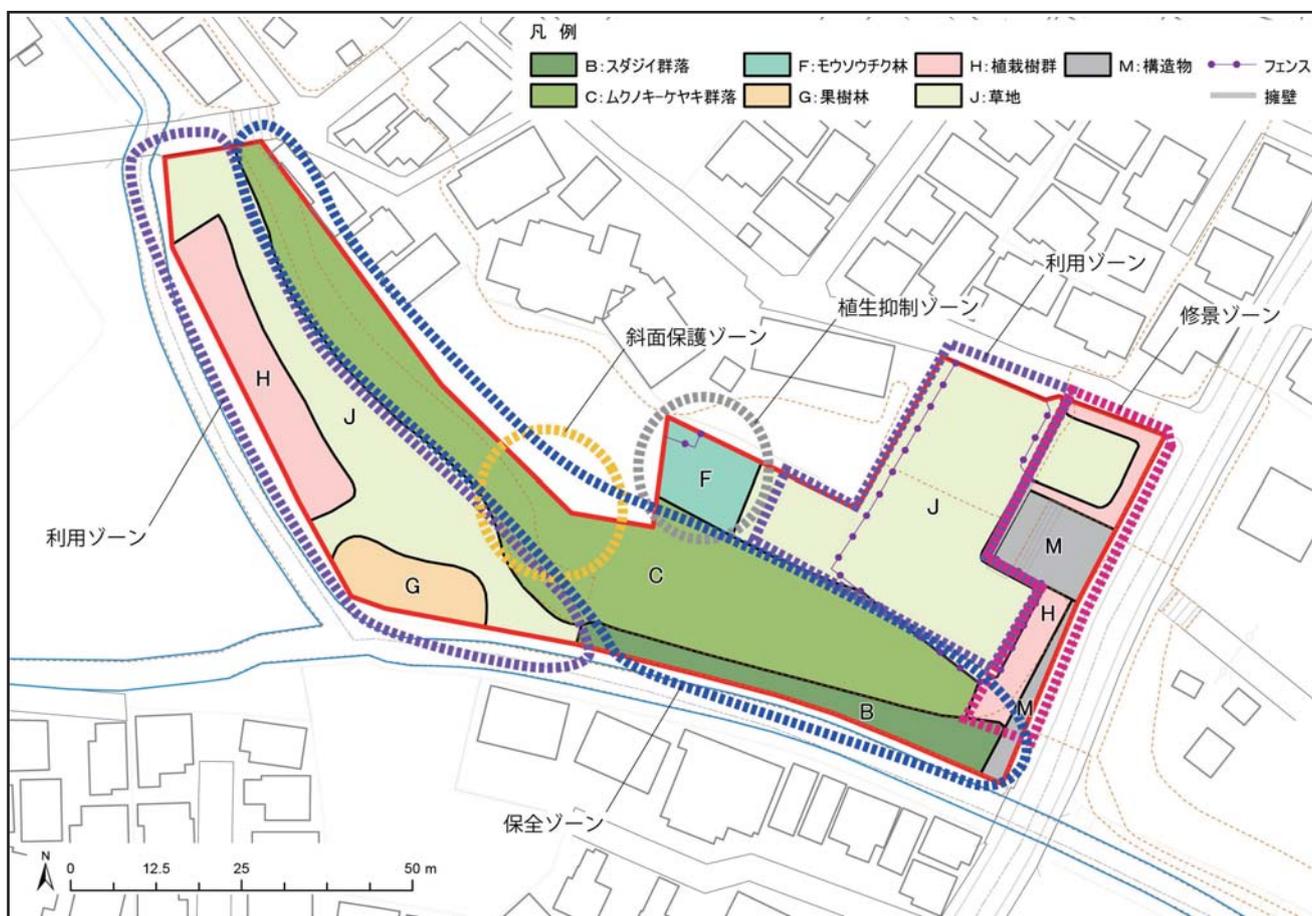
2 管理区域および施業計画

自然環境調査結果および樹林地の評価をもとに、ゾーニングを行い、具体的な施業計画について立案しました。

1 ゾーニング

布田崖線（上石原地区）のゾーニング

上石原地区は、保全、利用、斜面保護、植生抑制、修景の5つのゾーンに区分し、それぞれのゾーンの特性を活かした施業計画を立案します。



ゾーニング図（上石原地区）

-  保全ゾーン……斜面樹林を保全するゾーン
-  利用ゾーン……斜面下の平坦地を中心に、利用に供するゾーン
-  斜面保護ゾーン……表土の流出が起きている斜面を保護するゾーン
-  植生抑制ゾーン……モウソウチク林の拡大を抑制するゾーン
-  修景ゾーン……道路に面していて、景観に配慮した管理を行うゾーン

布田崖線（下石原地区）のゾーニング

下石原地区は、保全、斜面保護、修景の3つのゾーンに区分し、それぞれのゾーンの特性を活かした施業計画を立案します。



ゾーニング図（下石原地区）

-  保全ゾーン……台地上の樹林を保全するゾーン
-  斜面保護ゾーン……急傾斜地の地形と植生を保護するゾーン
-  修景ゾーン……道路に面していて、景観に配慮した管理を行うゾーン

布田崖線（上石原地区）の保全計画

(1) 樹林管理の内容

■ 枯死木等の伐採および剪定

- ・ 枯死木は優先的に伐採する。
- ・ 民地境界を越す，越境樹木の太枝の 剪定を行う。

■ 密度調整伐採

- ・ 林床植物の成長促進のため，本数調整伐採（間伐）を行う。
- ・ 竹林拡大抑制を目的に，定期的に，本数調整伐採を行う。

(2) 林床管理の内容

■ 下草刈り

- ・ 斜面および平坦地の下草刈りを継続して定期的実施する。
- ・ 北東側広場は幼児などが利用するため，快適に利用ができるように草丈はくるぶしまでとする。

■ 特定外来種の駆除

- ・ 現地で確認されているアレチウリ等の特定外来種の駆除を行う。

(3) 施設管理の内容

■ 斜面保護

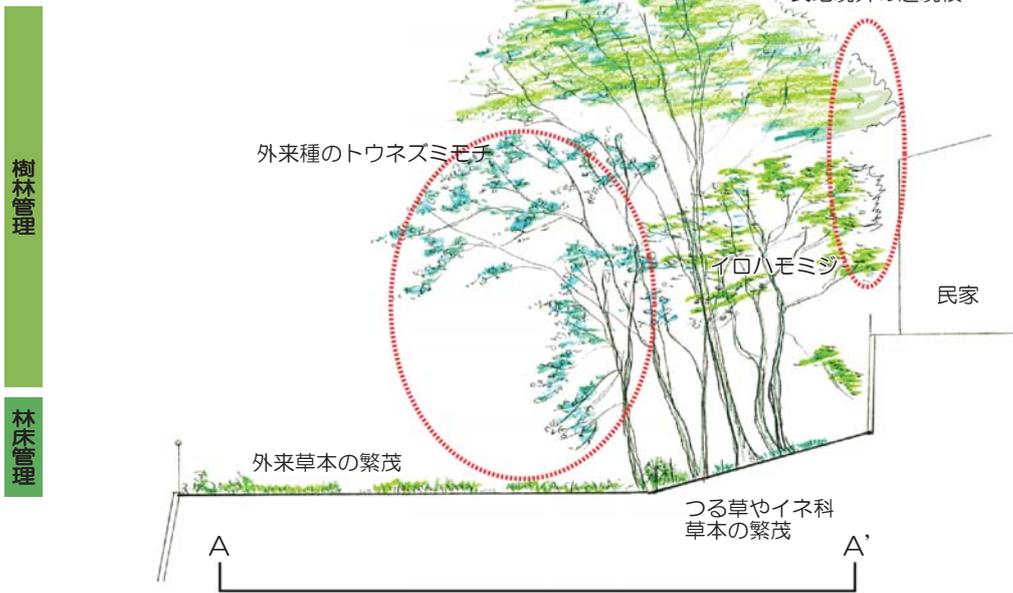
- ・ 土壌の流出，崩壊防止，根系保護のため，木柵を設置する。



保全計画図（上石原地区）

布田崖線（上石原地区）A-A' 断面模式図

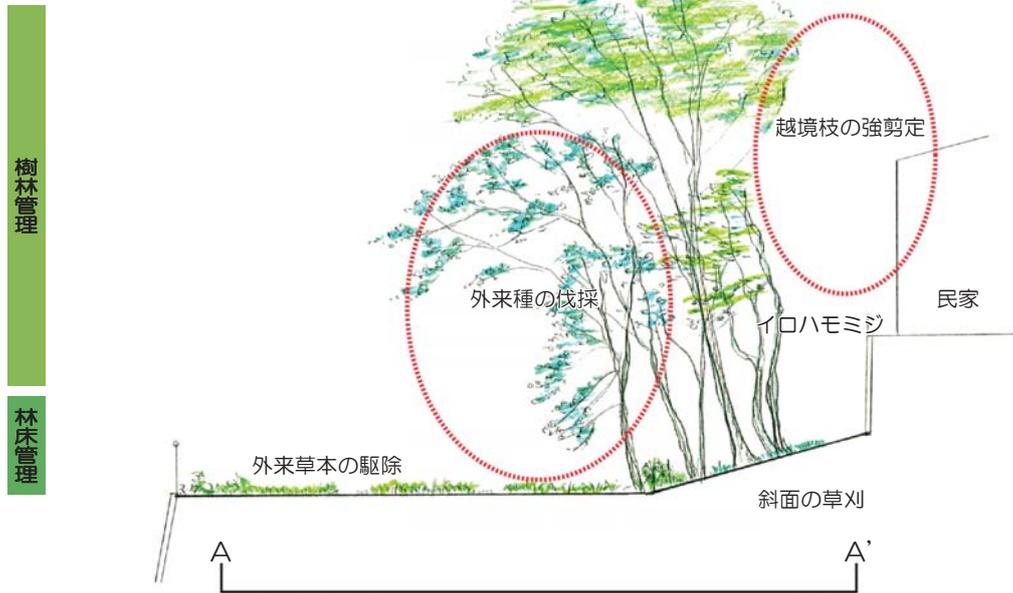
現 状



現状断面模式図



将 来 像



将来像断面模式図

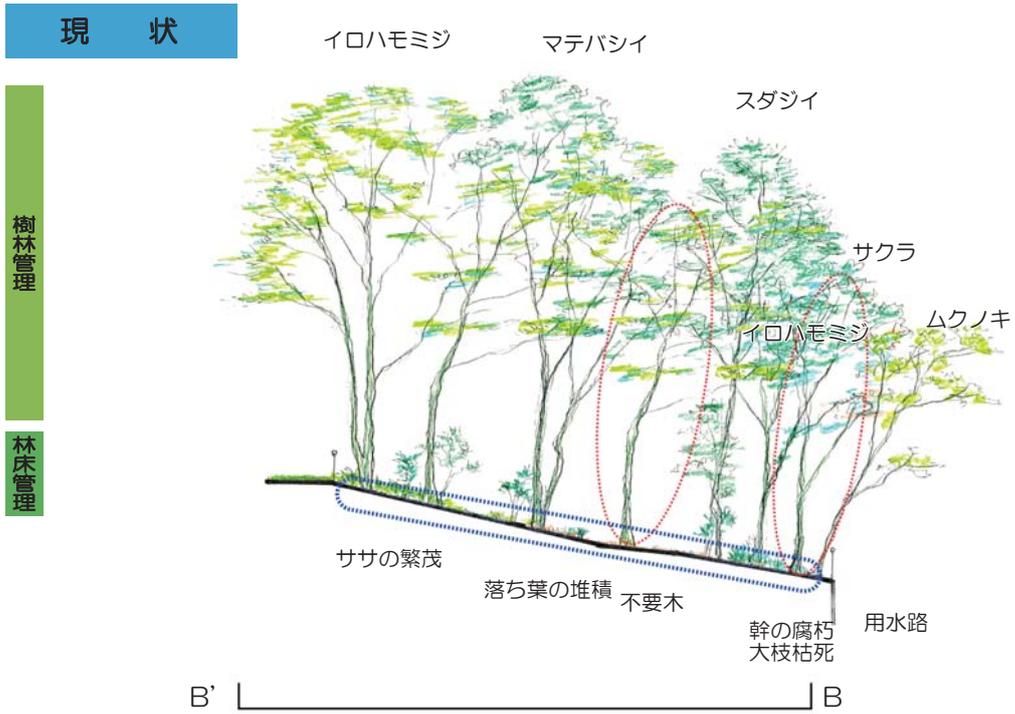
管理スケジュール

年間管理および 10 年を目安にした長期管理に必要な項目について、管理スケジュールを以下に示した。

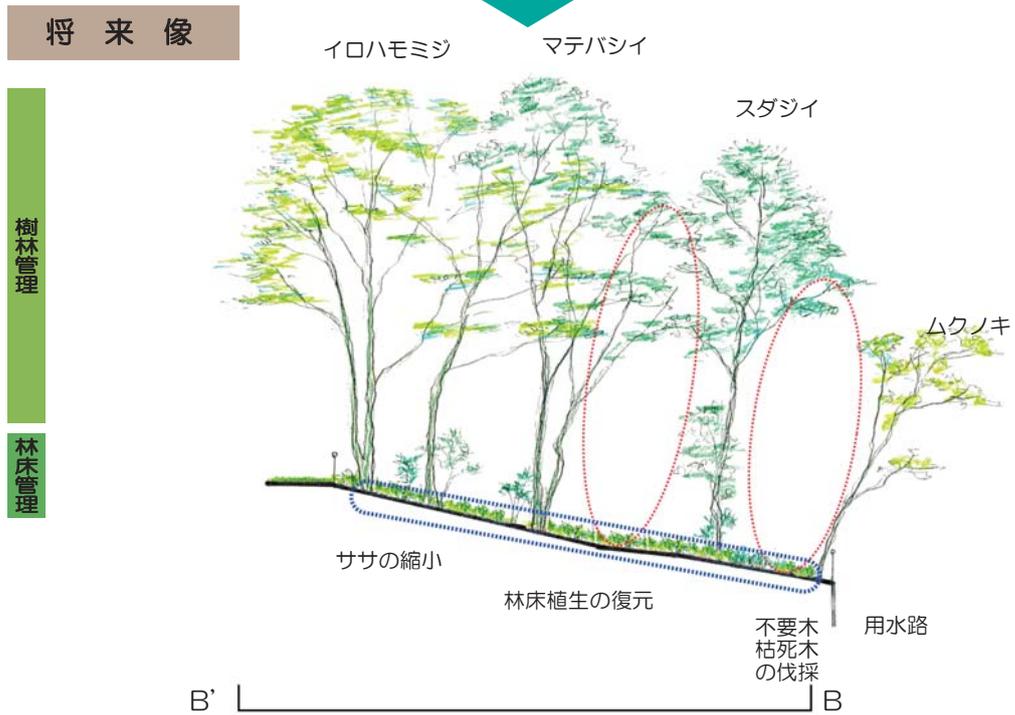
■ 年間作業スケジュール

作業内容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
下草管理	①下草刈り			■	■			■	■				
樹木管理	②低木の整理									■	■		
	③不良木の伐採			■					■	■			
	④越境枝・下枝の剪定		■	■			■	■		■	■		
										■	■		

布田崖線（上石原地区）B-B' 断面模式図



現状断面模式図



将来像断面模式図

■ 今後 10 年間のスケジュール

作業内容	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
下草管理	①下草刈り	■	■	■	■	■	■	■	■	■
樹木管理	②低木の整理	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	③不良木の伐採	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	④越境枝・下枝の剪定	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	⑤本数調整伐採（間伐）	■	■	■	■	■	■	■	■	■
施設管理	⑥土留用木柵の新設	■	■	■	■	■	■	■	■	■

● 毎年実施する作業 ●
■ 作業実施推奨時期

● 毎年実施しない作業 ●
■ 作業実施推奨時期

□ 作業実施可能時期

布田崖線（下石原地区）の保全計画

(1) 樹林管理の内容

- 枯死木等の伐採および剪定
 - ・ 枯死木は優先的に伐採する。
 - ・ 民地境界を越す，越境樹木の枝の剪定を行う。
- 密度調整伐採
 - ・ 竹林拡大抑制を目的に，定期的に本数調整伐採を行う。

(2) 林床管理の内容

- 下草刈り
 - ・ 台地面東側の下草刈りを継続して定期的実施する。
 - ・ 境界フェンスや樹木に巻きついたりする植物を除去する。
 - ・ 台地面北西側林床植物を保護する。

(3) 施設管理の内容

- 斜面保護
 - ・ 斜面崩壊地および根系露出部は，土壌の流出，崩壊防止，根系保護のため，木柵の補修および改修を行う。



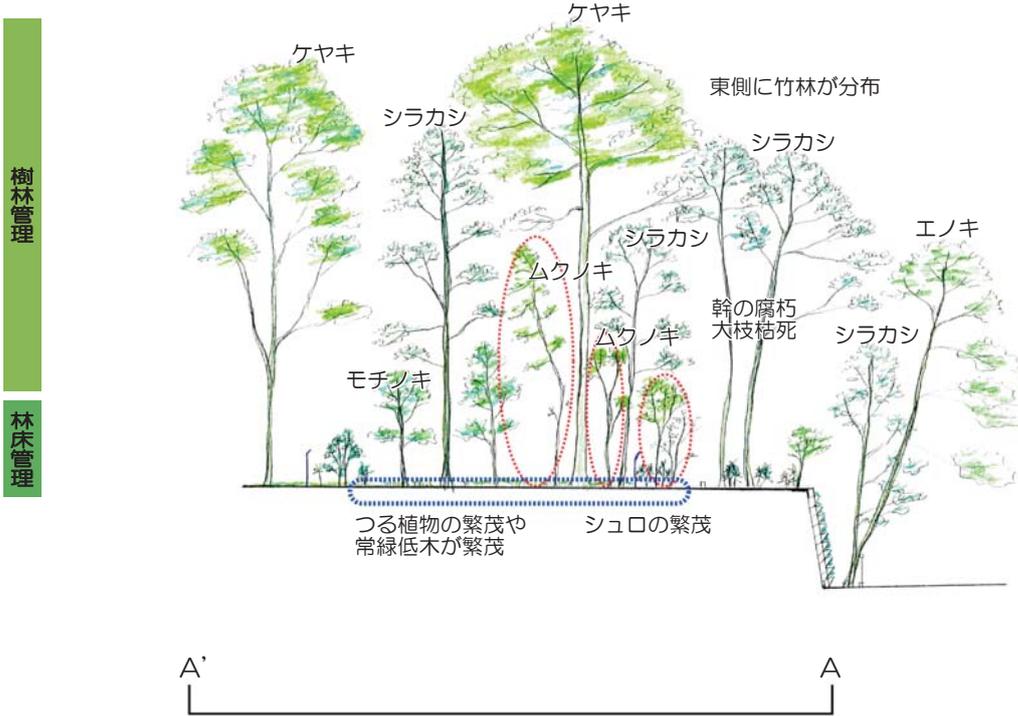
保全計画図（下石原地区）

■ 年間作業スケジュール

作業内容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
下草管理	①下草刈り												
	②低木の整理												
樹木管理	③不良木の伐採												
	④越境枝・下枝の剪定												
	常緑落葉												

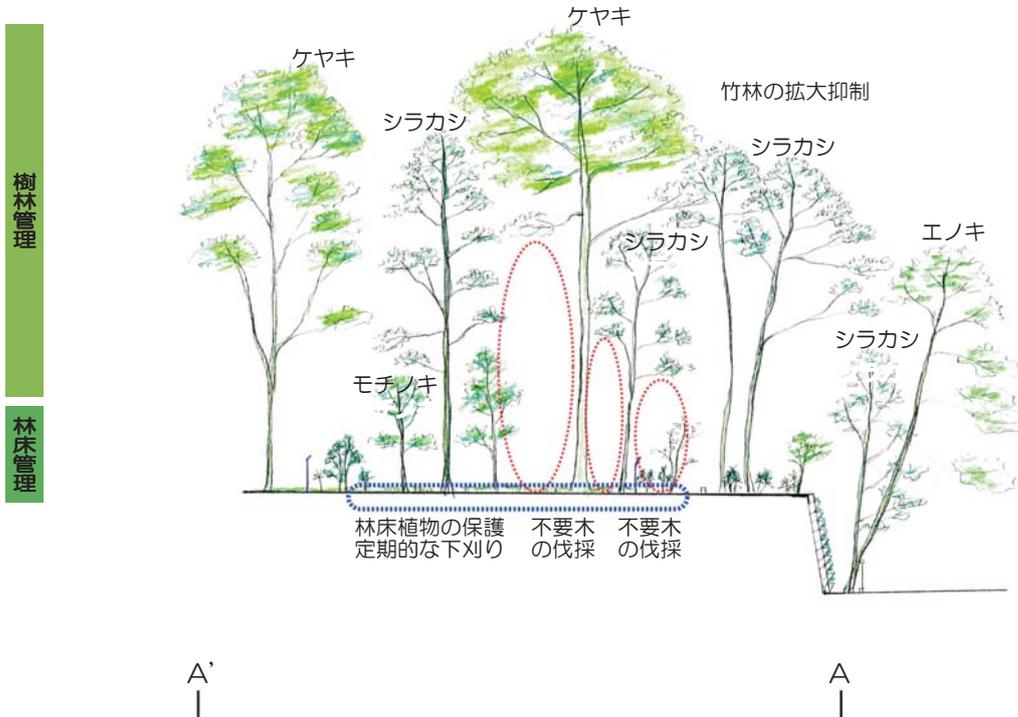
布田崖線（下石原地区）A-A' 断面模式図

現 状



現状断面模式図

将 来 像



将来像断面模式図

■ 今後 10 年間のスケジュール

作業内容	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
下草管理 ①下草刈り	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
樹木管理 ②低木の整理 ③不良木の伐採 ④越境枝・下枝の剪定 ⑤本数調整伐採(間伐)	■									
施設管理 ⑥土留用木柵の改修・補修				■	■					

● 毎年実施する作業 ●
■ 作業実施推奨時期

● 毎年実施しない作業 ●
□ 作業実施推奨時期

□ 作業実施可能時期



調布市崖線樹林地の
保全管理計画
(布田崖線)

発行日 平成 28 年 (2016 年) 4 月
発 行 調布市
編 集 環境部緑と公園課
〒182-8511 調布市小島町 2-35-1
T E L 042-481-7083(直通)
F A X 042-481-7550
E-mail midori@w2.city.chofu.tokyo.jp

登録番号
<刊行物番号>
2016-34

R70
古紙パルプ配合率70%再生紙を使用